

令和6年
2024年

11月27日
水曜日

第11604号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



カミチクが、第27回南九州黒牛枝肉共励会を開催……P5

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、スターゼン池尻尊広上席執行役員営業本部長……P2～3
- ▶ 【12月の相場見通し】①牛枝肉・牛部分肉…P3
- ▶ 日本ハムが代替たんぱく質に関する全国意識調査を実施……P4
- ▶ [SM販売統計調査10月] 畜産品の売上高は前年同月比1.1%増……P4
- ▶ カミチクの南九州牛枝共、ヨシムラがGC初受賞……P5
- ▶ さいたま市食肉中央卸売市場交雑種共進会、名誉賞に内田牧場……P5
- ▶ 高周波解凍の山本ビニターが八尾工場の全面リニューアル計画来年7月着工……P6
- ▶ [役員人事] 伊藤ハム米久ホールディングス…P6
- ▶ 京都食肉業卸組が通常総会を開催、46期の事業計画案などを可決……P7
- ▶ [POSランク10月ハム製品]「朝のフレッシュロスハム」が首位……P7
- ▶ 焼肉きんぐ、「焼肉きんぐの福袋2025」12月2日から事前予約開始……P7
- ▶ 中国農業農村部、肉牛乳牛生産の安定化に関する通知を公表……P7
- ▶ [資料]ハム製品10月POS売れ筋品目ベストランキング月次……P7
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]26日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]26日…P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
スターゼン池尻尊広上席執行役員営業本部長

…詳細はP2～3

カミチクの南九州牛枝共、ヨシムラがGC初受賞

…詳細はP5

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

大手豚肉サプライヤーインタビュー スターゼン池尻尊広上席執行役員営業本部長

—23年度の豚肉の販売実績、24年度上期の概況はいかがですか。

23年度は、国産が数量ベースで前年比102%、金額ベースで104%、輸入が数量104%、金額108%となり、共に前年をとらえることができました。

一方、24年度については、国産豚肉が異常ともいえる高値相場となったことに加え、為替などの影響もあり、輸入ポークも含めて厳しい状況が続いています。24年度は計画を立てる段階から円安や飼料価格の高止まりなど、厳しい事業環境となることは想定していましたが、実際にはそれを上回る厳しさです。

計画に対する進捗状況は、全体で数量が計画比98%と若干遅れているものの、金額は105%と、上回っています。

海外情勢の厳しさから、国内では国産豚肉へのシフトがみられます。国産価格も高騰しているものの、輸入ポークが入船遅れなどで不安定な供給環境となり、国産への切り替えが進みました。それが国産の相場高に拍車をかけた一つの要因です。こうした環境はしばらく続くとみえています。

—生産や販売の取り組みはいかがですか。

自社関連農場では生産者との取り組みをしっかりと行い、飼料メーカーを含めて連携を強化していきます。また、設備投資など生産者への支援も含めて関係を深め、安定的な集荷を図ります。

当社は国内にSQF認定を受けた豚肉の工場を5カ所保有しており、それをフル活用しながら、生産者が丹精込めて育てた豚肉をしっかりと販売していかなければなりません。そのためには品質や鮮度管理は不可欠であり、全社でしっかりと取り組んでいます。

また、輸入ポークについては円安などによって全ての商品がこれまでに比べて高騰しており、従来の主要6部位の販売は厳しさを増しています。より値頃感のある商品として、端材を含めた商品など、チルドとフローズンを合わせた総合的な提案を進めています。

最近では小売でもフローズンの解凍品が販売されるケースが増えています。バラなどは赤身が少なく、解凍してもあまりドリップが出ません。



さらに欧州産の生産量が減少する中、産地の移行も進み、新たな供給先としてブラジル産がシェアを伸ばしています。

また、全国的に人手不足が深刻であり、対策を進めていかなければなりません。

当社としては商品の付加価値を高めたい半面、人手不足は大きな課題であり、より細かく多様化し続けるスペックなどの要望全てにお応えすることが難しくなってきたのも事実です。

—今後特に注力していく販路はありますか。

今後は特に外食向けの提案を強化していきたいと考えています。輸入価格が高騰する中、原料事情は非常に厳しいですが、多くの日系外食事業者がアジアを中心に海外進出を果たしています。これについては現地での商品開発も含めてサポートし、日本ならではの商品を海外のマーケットで広げていきます。

先々に向けては、日本国内のインバウンド需要をとらえた上で、さらに海外現地での展開を考えており、そうした意味でも当社としては外食への販売強化を積極的に進めていきたいと考えます。

—豚肉を原料にした加工品などの開発についてはいかがですか。

一つにはローストポークが挙げられます。ローストビーフに次ぐ商品として、商品開発を強化していきます。さらに内臓肉については、昨今かなり付加価値が高まっています。当社も「豚足の黄金煮」や「もつ鍋セット」などの商品を販売し、マーケットの反応は非常に良いです。鮮度の高い内臓肉を供給できる企業として、産地に近い場所でしっかりと商品を開発していきます。

—SDGsやアニマルウェルフェアへの取り組みは
いかがですか。

これらの課題に取り組んでいくことは、企業としての使命であると考えます。例えば、SDGsの取り組みとしては、食品ロス削減に貢献すべく、食品残さを活用したエコフィードなどを行っています。また、アニマルウェルフェアについては、現在、茨城大学と共同で

日本の農場における最適なフリーストールの研究を進めています。

一方、こうした取り組みを進める上ではさまざまなコストがかかるのも事実であり、どういった形で付加価値を高めていくか。最終的には消費者の理解を得て、価格に転嫁していくことも必要だと考えています。

【12月の相場見通し】①牛枝肉・牛部分肉

【牛枝肉】年末の手当て進む、今年は動き出しが早い

【東京】12月になり年末年始の手当てが本格的になる。今年は3月以降、前年を下回る相場が続いており、年末商戦が懸念されたが、ここに来てジリジリと相場を上げてきている。東京市場は前年並みの8900頭弱の上場を計画。また、臨時の競りは12月14日、28日と2回が予定されており、28日が年内最終となる。近年、手当ての期間は短く、また、12月に入ってからというパターンが多かったが、今年は動き出しが早く、11月の2週目には上げ気配となっている。ピークは12月中旬と思われるが、年明けの初競りは遅く、また、人手不足などで作業を早める工場もあり、12月初旬にピークがあり、中旬から後半にだれてくるとの見方もある。交雑牛の全国と畜頭数は前年を上回ると予想されているが、需要は高く、堅調な相場が予想される。

【大阪】東京市場の和牛相場は11月に入って大幅に伸長しており、年末に向けた引き合いの強まりが感じられる。一方、大阪市場はあまり相場が持ち上がっていない。高値の枝肉も散見されており、引き合いは着実に強まっているが、同じ等級でも価格に開きがあるため、平均するときはほど上がってきていない。しかし、東京市場に追随する動きはみられそうで、大阪市場の下値も12月には上昇に向かうだろう。おそらく12月の前半は、昨年並みの高値を付けそうだ。一方で、下旬にかけての値下がりも顕著か。

【福岡】強気配か。消費者の節約志向は根強いが、最終商戦と気温の低下に伴う鍋需要の好転に期待。月前半は11月に続き共励会の開催で和牛の上位等級が買い支えられるか。交雑牛は和牛の代替商材で人気根強い。乳牛去勢は上場頭数が少ないが、高値の輸入牛肉の代替需要から底堅いか。福岡

県で初めて確認された牛感染症ランピースキン病の影響が懸念される。

月平均は人気産地や品質、ブランド、上場頭数次第でまちまち。和牛A5は2600円、同A4は2300円、交雑牛はB3で1600円とみる。

【牛部分肉】ヒレ、カタロース品薄、スライス系は需要高い

【関東】牛肉消費の低迷が続く中、年末商戦に懸念の声もきかれたが、枝肉は相場を戻し、卸各社は唱え値を上げている。鍋物需要が強く、当面スライス材中心の動きが続くと思われ、カタロース、ロース、ヒレは品薄となっている。特に交雑牛のカタ系が足りず、和牛への代替もきかれる。また、乳牛も品薄となっており、アイテムによってはすでに「年内分の余剰はない」（卸）もよう。しかし、枝肉相場に末端の価格が追いついていない。忘年会などのイベントやインバウンド需要に向けて外食からの発注も始まっている。人気のローストビーフ向けも堅調に推移。量販店でも年末年始に向けたフェアなどが用意されている。

【関西】いよいよ年末を迎える。今年一年も厳しい年となったが、年末を控えてようやく部分肉の動きも良化してきている。特に動きが良いのがカタ、カタロースのスライス用。モモについてはまだ今は動きはないが、12月に入ると同じくスライス向けで高い需要が見込めそうだ。

ロースについてはやはり価格面から今も動きが悪い。12月に入っても同様に価格がネックとなり、先行して動くのはカタロースとなる。しかし、ロース在庫を年明けまで持ち越したくないのは皆同じなので、各社、積極的な提案攻勢となるだろう。厳しさが見込まれるのは焼き材の動きが悪くなるためバラ。ミンチの動きも悪くなるためネック、スネも厳しい。

日本ハムが代替たんぱく質に関する全国意識調査を実施

ニッポンハムグループでは、将来のたんぱく質供給不足問題に備え、代替たんぱく質に対するニーズを把握し、持続可能なたんぱく質の安定調達・供給に向けて取り組んでいる。そしてこのほど、日本ハムでは11月29日の「いい肉の日」に合わせ、4種類の代替たんぱく質(プラントベースフード、^{こうじ}麴、藻類、細胞性食品=培養肉)に関する全国意識調査を実施した。(調査方法 同社お客様志向推進部によるインターネット調査▽有効回答数 全国の20歳以上の男女6382人▽実施期間 2024年9月27日～10月1日)

プラントベースフードとは、主に大豆、小麦などの植物由来原料を使った食品のこと。肉や魚の食感や味を再現したものとして、代替肉(大豆ミートを含む)、代替シーフード、オーツ麦から精製されたオーツミルクなどがある。麴は、たんぱく質や食物繊維などを豊富に含むものがあり、温度などが調整された環境で生産されるため、安定的な生産が可能といわれている。藻類はCO2を吸収して生育するため、カーボンニュートラルに向けた取り組みにつながる。たんぱく質や食物繊維などを豊富に含むものがあり、食品としての活用が検討されている。細胞性食品(培養

肉)は牛などの動物から取り出した少量の細胞を人工的に培養して、従来の肉と同様のものを生産しようとするもの。そしてこれら代替たんぱく質の特徴として「たんぱく質不足問題に貢献できる」「環境問題に貢献できる」「アニマルウェルフェア(動物福祉)である」といった点が挙げられる。

調査結果によると、プラントベースフード、細胞性食品(培養肉)の認知率は4割弱となった。アンケート回答者に代替たんぱく質の特徴を伝えずにプラントベースフードのイメージをきいたところ、通常の肉や魚に比べて「価格が高い」「おいしくない」というイメージがあることが分かった。一方、代替たんぱく質の特徴をアンケート回答者に伝えた場合、「たんぱく質不足問題に貢献できる」という点が「食べたい理由になる」「やや食べたい理由になる」と答えた人は、約70%に上った。プラントベースフードと細胞性食品に期待する点について、「たんぱく質量が豊富」「地球環境へ配慮されている」が上位に入った。麴と藻類は「栄養価が高い」「おいしい」という点で期待度が高いことも分かった。

【SM販売統計調査 10月】畜産品の売上高は前年同月比1・1%増

日本スーパーマーケット協会など流通3団体がまとめたスーパーマーケット販売統計調査資料によると、10月の食料品売上高は9624億5425万円(全店ベース前年同月比2・5%増)となった。

畜産品の売上高は1229億2363万円(1・1%増)で、一般的に相場高が継続する中、気温が高く推移したため鍋関連の動きが鈍く、やや不調となった。牛肉は輸入牛が不振だが、国産牛は前年並みで推移した。豚肉は相場がやや落ち着き、ひき肉や小間切れなどの低価格商品の動きが良かった。鶏肉は節約志向の中で比較的堅調だが、鳥インフルエンザ発生の影響を心配するコメントもみられる。加工肉は高値傾向で不振が続いていたが、一部で回復傾向もみられている。

総菜の売上高は1177億9258万円(4・7%増)で、米の価格高騰の影響もあってか、総菜部門では米飯類、麺類などの好調が続いている。

◎スーパーマーケット統計調査

10月	売上高	前年同月比	
		全店	既存店
総販売額	105,284,288	102.1%	100.7%
食料品	96,245,425	102.5%	101.0%
生鮮3部門合計	36,027,085	101.7%	100.2%
青果	15,085,926	102.6%	101.1%
水産	8,648,796	101.2%	99.6%
畜産	12,292,363	101.1%	99.5%
総菜	11,779,258	104.7%	103.1%
日配	21,525,910	100.9%	99.7%
一般食品	26,913,173	104.0%	102.5%
非食品	6,511,988	96.3%	96.3%
その他	2,526,916	103.9%	102.8%

エリア別集計	既存店
	前年同月比
北海道・東北	98.9%
関東	101.5%
中部	100.8%
近畿	100.9%
中国・四国	100.8%
九州・沖縄	100.0%

※集計企業270社・8389店舗

JSA(日本SM協会)全国スーパーマーケット協会 AJIS(オール日本SM協会)

カミチクの南九州牛枝共、ヨシムラがGC初受賞

カミチク(本社=鹿児島市、上村昌平社長=写真前列左)は25日、鹿児島市の鹿児島食肉センターで第27回南九州黒牛枝肉共励会(出品44頭)を開き、審査の結果、(株)ヨシムラ(吉村祐一代表=写真前列中央)出品の黒毛和種(自家産、去勢、生後約31カ月、枝肉重量576kg、BMSNo.12)が最高位のグランドチャンピオン(GC)に輝いた。同社は家族経営の下、母牛100頭規模の一貫生産を営む生産者。GC受賞は初めてで、吉村代表は表彰式のスピーチで「引き続きおいしいお肉をつくるため頑張っていきたい」と話した。

冒頭、上村社長は関係者に謝辞を述べた上で「本共励会は牛肉のブランド定着と生産者の皆さまの経営安定化が目的。今回は県内農業高校の6校が参加するなど、近年は未来の人材育成の場としても寄与している。昨今の経営環境は特に生産者の皆さまにとって非常に厳しいが、この難局を一緒に乗り越えていけるよう南九州の地から全国、そして世界各地で消費拡大につながる販促活動を強化していく」と述べ、参列の出荷者にエールを送った。

一方、若手農業者の育成支援を目的に、本年度で



開催6年目を迎えた高校生の部は過去最多の6校が参加。審査の結果、最高位の金賞には県立市来農芸高校畜産部が育てた自家産和牛(雌、同約28カ月、同約609kg、同No.10)が獲得し昨年続く連覇を果たした。各校の出品牛はカミチクが買い取り、後日、特定非営利活動法人「かごしまこども食堂支援センター『たくして』」を通じ、県内の子ども食堂などに寄贈される予定。表彰式では上村社長から同センターの園田愛実理事長に目録が手渡された。

さいたま市食肉中央卸売市場交雑種共進会、名誉賞に内田牧場

さいたま食肉市場(金子健司社長)は25日、さいたま市食肉中央卸売市場で、第38回交雑種枝肉共進会を開催した。70頭が出品され、名誉賞に(株)内田牧場(埼玉県)の出品牛が輝き、キロ当たり2089円で(株)東和食品が購買した。受賞牛枝肉は雌、A5、重量547・5kg。

そのほかの主な結果は次のとおり。出品者(性別、

枝肉重量、格付、キロ単価、購買者)。[最優秀賞]飯野晴美(雌、582kg、B4、1963円、エスフーズ)[優秀賞]北彩牛 森本喜代治(去勢、569・5kg、A4、1838円、エスフーズ)▷磐上正行(雌、514・5kg、A4、1750円、東和食品)▷関山昌弘(去勢、509kg、A4、1810円、川口又治商店)

[訂正] 本紙11月26日付9ページ、一般社日本畜産物輸出促進協会が開催するサウジアラビアの首都・リヤドのカントナルホテル・バイ・ウォリックでの日

本産和牛セミナーの予告記事で、開催日を来年1月30日としていたものは今年12月10日の誤りでした。おわびして、訂正いたします。

高周波解凍の山本ビニターが八尾工場の全面リニューアル計画 来年7月着工

大型ブロック肉も均一・短時間で解凍する高周波解凍装置「テンパトロン」を製造・販売する山本ビニター(株)(大阪市天王寺区、山本泰司社長)は、生産拠点である大阪府八尾市渋川町にある八尾工場の全面リニューアルを実施する。第1期工事が2025年7月着工、26年10月竣工予定。第2期が26年12月着工、28年11月竣工予定となっている。

同社は電波(高周波、マイクロ波)を活用した加熱装置のトップメーカー。高周波解凍装置のテンパトロンは、マイクロ波より深部まで加熱できる高周波の特性を生かし、厚みがある冷凍原料もムラなく均一に解凍できる。

高鮮度の解凍を短時間で大量に行えるため、外食チェーン関連企業へ多数納入されているほか、大手コンビニエンス・ストア関連のベンダー企業などでも導入が進んでおり、高速・均一・高効率な省エネ解凍を実現する連続式ラインも幅広い産業で導入されている。

同社は生産拠点として八尾工場と、その対面にある久宝寺工場の2拠点を有する。このうち八尾工場を拡大し、装置開発・製造機能を集約することで生産性を高め、装置生産量を最大2.5倍に引き上げるとしている。この拠点を中心に電波加熱装置市場の拡大を図り、カーボンニュートラル実現に向けた誘電加熱技術の普及を目指す。

リニューアル計画では、第1期として、八尾工場に隣接する新たな敷地に新工場を新設。完成後に現八尾工場の機能を新工場に移設する。第2期には現八尾工場を解体し、第1期新工場と接続する第2期新工場および管理・設計棟を建設する。第2期新工場



は、高さ11.5mの大型装置製造に対応する大型生産工場で、両工場で現八尾工場の2倍の延べ床面積となる、開発機能と生産機能が統合した新たな拠点が完成する計画となっている。

新拠点を「コトづくり」「モノづくり」を統合する新拠点としており、コトづくりでは、テストラボを1.5倍に拡充し、最新機種を体験できるデモンストラクションルームやトレーニングセンターを設置。

モノづくりでは、生産スペースを1.5倍に拡張。部材自動運搬システムなどを導入し、生産リードタイムを短縮。大型設備にも対応可能な生産スペースを確保し、多様な装置製造に対応する。

新工場全体の敷地面積は7600㎡、延べ床面積1万㎡。投資総額45億円。

【役員人事】伊藤ハム米久ホールディングス

伊藤ハム米久ホールディングスは25日開催の取締役会で、執行役員の異動について決議した。内容は次のとおり。

〔執行役員の退任〕退任する執行役員 常務執行役員ANZCO FOODS LTD. Executive Chairman

御園生一彦▽退任日 2024年12月31日

〔執行役員の担当職務・範囲の変更〕(2025年1月1日付) 執行役員ANZCO FOODS LTD. Executive Chairman(執行役員ANZCO FOODS LTD. Executive Vice Chairman) 堀内慎二

京都食肉業卸組が通常総会を開催、46期の事業計画案などを可決

京都府食肉業務用卸協同組合(吉岡浩人理事長)は20日、京都市中京区のホテルオークラ京都で第45期通常総会を開催した。議事では、第45期事業報告ならびに決算報告書承認、第46期賦課金の額および徴収方法、同事業計画ならびに収支予算案承認、借入金の最高限度額、役員改選、その他について審議し、いずれも原案どおり承認。役員改選では吉岡理事長を再選した。

総会終了後に開かれた懇親会で冒頭、あいさつに立った吉岡理事長は「当組合では毎月の情報交換会をはじめ諸事業を推進しているが、その一つが枝肉を通じての人材育成事業。人手不足の中、部分肉流通が大半を占めているが、われわれの仕事の基本は生きた牛、命をいただいていることを理解しなければならない。枝肉のカット技術を学び、商品化までの流れを身につけることが大切だ。もう一つは新需要開発。牛・豚肉にかかわらず、新たな開発を進めないと消費者に選んでいただけない。諸物価の高騰により、高級品である和牛の消費はインバウンド需要を除けば鈍っている。おいしさだけでなく、健康面でのメリッ



トを訴求し消費活性化につなげていきたい」などと述べた。

来賓では、農水省近畿農政局の犬飼史郎次長、京都府商工労働観光部中小企業総合支援課の田村弘之課長、京都市産業観光局地域企業イノベーション推進室商業振興課の野原永臣課長がそれぞれの立場から祝辞。来賓紹介、祝電披露に続き、京都食肉市場(株)の宮田典幸社長による乾杯発声で懇親に。年末に向けた情報交換などが行われる中、立原信一副理事長による中締めで散会した。

【POSランク 10月ハム製品】「朝のフレッシュローズハム」が首位

(株)KSP—SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した10月POS／ハム製品売れ筋ランキングによると、伊藤ハム「朝のフレッシュローズハム」(37g×3)が首位だった。

2位は伊藤ハム「朝のフレッシュローズハム」(37

g×4)、3位は丸大食品「いつも新鮮ローズハム4連」(40g×4)、4位はプリマハム「スマイルUPローズハム4連」(148g)、5位は丸大食品「いつも新鮮ローズハム」(40g×3)だった。対象店舗1055店舗の総販売金額は5億70万505円。

焼肉きんぐ、「焼肉きんぐの福袋 2025」12月2日から事前予約開始

物語コーポレーション(愛知県豊橋市、加藤央之)社長が運営する、全国で334店舗を展開する「焼肉きんぐ」は、クーポン券や非売品のオリジナルグッズが入った「焼肉きんぐの福袋2025」(税込み3千円)を2025年1月2日から販売。それに先立ち、事前Web予約の受け付けを12月2日からスタートすることを発表した。

福袋の内容は、同店で会計3千円(税込み)ごとに1枚使えるクーポン券4千円分(500円分×8枚)、ロゴ入りレジカゴ、BOXティッシュ(3個入り)、同店オリジナルサクマドロップス、肉柄エコバッグ、同店オリジナルマスキングテープ(2個入り)と、バラエティー豊かな内容。なお、販売は1人一つまでで、売り切れ次第販売終了となっている。

中国農業農村部、肉牛乳牛生産の安定化に関する通知を公表

中国農業農村部はこのほど、肉牛および乳牛の飼養農家が赤字経営となり困難に陥っていると、「肉牛乳牛生産の安定化に関する通知」を発出した。その主な内容は以下のとおり。

①【肉牛および乳牛の基礎的な生産能力の安定化】肉牛については母牛の基礎的な生産能力を最優先事項とし、母牛群の頭数を安定的に管理しつつその品質向上も着実に加速することで、母牛の産出能力と繁殖効率を向上させること②【飼養農家の飼料コストの確実な低下】飼料コストを下げるため、飼料を適切に使い、適切に貯蓄する政策を促進すること。具体的には、発酵とうもろこし殻、うまごやし、飼料用えん麦などの優良な飼料を主とし、各地域の特色ある飼料用植物を併用するとともに、飼料不足の発生を防ぐため、飼料生産の安定や、その貯蓄、輸送のための基礎設備の建設などを加速すること③【乳業における生産と加工の一体的な発展の推進】乳資源の管理を確実なものとし、生乳の販売を安定化するため、生産と加工の一体的な発展を引き続き推進すること。具体的には、県単位で生産能力の向上および優良化を進め、生乳大生産地の総合的な生産能力の向上を図るとともに、6次産業化を進めること④【貸付措置の強化】飼養経験が豊富で管理レベルも比較的高い農家は貸付信用レベルが高いとしてホワイトリストに列記するなどにより、金融機関が適切なりスク管理をしつつ融資ができるように促すこと。また、各地の農業農村部門は金融部門と積極的に協力し、牛や家禽、大型飼養機器などの動産を担保とする貸し付けが進むよう、抵当化と、そのための評価、譲渡、処分などの仕組みの構築を進めること⑤【脱貧困地域および脱貧困住民による牛関連産業への支援の強化】牛肉関連産業は、一部の経済未発展地区においては、脱貧困地域および脱貧困住民を支える重要な収入源となっている。個々の農家に有効な対策を実施することで、可能な限り牛肉などの価格下落がこれらの飼養農家に影響を及ぼすことがないようにすること⑥【牛肉および乳製品の消費の促進】新旧メディアを総合的に活用し、ショートムービーや公式ホームページ、スマートフォン・アプリ上の宣伝媒体に、牛肉および乳製品の消費を促す欄を

開設し、新鮮な牛肉および乳製品の品質や栄養価、その地域の特色ある牛肉飲食文化などを紹介することによって消費を促進すること。また、牛肉および乳製品に関する科学的な知識の普及を進め、「学生用乳製品」の普及や地元で利用できる消費券の発行などの方法によって消費をつくること⑦【技術指導サービスの強化】獣医学関連の支援機構、業界団体学術機関など各地の技術集団の能力を十分に発揮させ、これらの機関による農村や飼養農家への訪問等を進めること。また、良質な飼料の効果的な利用や農業副産物の飼料化、精緻化された飼養管理、優良品種の選別、防疫など、生産過程における重要な節目について、座学や現場指導等の技術指導を強化すること。

なお、23年の中国の牛肉消費量は約1027万tであり、前年比4.0%の伸び率であった。価格下落の最大の要因は供給過多にあるとしている。①牛肉の消費地卸売市場価格はこの36カ月間下落傾向にあり、2023年1月には過去最高の1kg当たり87.33元となったが、同年7月には平均80元程度、24年5月には同70元を割り込むまでに下落した②生体牛の消費地卸売市場価格もこの36カ月間下落傾向にあり、22年11月に最高の1kg当たり37.51元となったが、23年5月には同35元を割り込み、24年3月にはさらに同30元を割り込むまで下落した③牛肉の小売価格も下落を続けており、24年の春節以降、数カ月で下落幅は20%に達した。業界メディアによれば、この下落は輸入牛肉の供給過多により輸入牛肉の価格が下落したことに起因しており、輸入牛肉に品質で劣る国産牛肉の消費が落ち込み、そのために価格も下落たとされている。24年上半期の牛肉輸入量はすでに144万tであり、そのうち5月の伸び幅が最大で前年同月比30%増にまで達した④生乳価格も下落しており、業界メディアは、生乳価格が損益分岐点を超えて下回ったために多くの乳牛飼養農家が乳牛の売却を行い、その数は23年上半期で約90万頭に達し、またそれが牛肉として市場に出回ったことでさらに牛肉価格が低迷したとしている。また、24年8月に出荷された肉牛は平均で1頭当たり1062元の赤字となった。(農畜産業振興機構)

ハム製品10月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2024年10月 対象店舗数:1,055店舗 品目合計:5億70万505円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	伊藤ハム 朝のフレッシュロースハム 37g×3	38,824,651	160,968	241	7.75	8.59	54.72
2	伊藤ハム 朝のフレッシュロースハム 37g×4	32,407,334	110,258	294	6.47	5.88	34.32
3	丸大食品 いつも新鮮ロースハム4連 40g×4	23,794,903	85,774	277	4.75	4.58	26.22
4	プリマハム スマイルUPロースハム4連 148g	20,602,409	75,623	272	4.11	4.04	23.83
5	丸大食品 いつも新鮮ロースハム 40g×3	16,620,536	76,653	217	3.32	4.09	24.88
6	伊藤ハム 燻工房 ロースハム切り落とし(ヨコ) 95g	16,539,404	58,354	283	3.3	3.11	60.06
7	プリマハム スマイルUP!ロースハム3連 37g×3	16,405,502	75,714	217	3.28	4.04	32.13
8	イオントップバリュ トップバリュ ロースハム4連 40g×4	12,740,566	48,018	265	2.54	2.56	10.10
9	プリマハム ホワイトロースハム 210g	11,826,048	39,261	301	2.36	2.09	46.04
10	プリマハム 十勝グルメの便り ロース生ハム 90g	11,078,445	36,433	304	2.21	1.94	50.91
11	プリマハム ロースハム 4連	11,039,565	42,960	257	2.2	2.29	4.96
12	シジシージャパン 断然お得ロースハム 40g×4	9,577,922	34,434	278	1.91	1.84	16.49
13	シジシージャパン Vパックロースハム 148g	8,415,093	30,296	278	1.68	1.62	25.26
14	信州ハム グリーンマーク ロースハム 60g	8,285,756	29,616	280	1.65	1.58	59.68
15	イオントップバリュ TV 生ハムロース 100g	8,029,315	29,452	273	1.6	1.57	12.68
16	信州ハム ロースハムスライス積重ね 260g	7,966,635	21,961	363	1.59	1.17	18.68
17	伊藤ハム 燻工房 ももハム切り落とし(ヨコ) 100g	6,612,523	23,984	276	1.32	1.28	52.62
18	日本ハム リッチロースハム 54g×3	6,546,125	13,777	475	1.31	0.74	30.51
19	日本ハム 便利 ロース生ハム 20g×3	6,440,473	20,823	309	1.29	1.11	56.05
20	伊藤ハム 朝のフレッシュ生ハムロース 19g×3	6,246,470	22,038	283	1.25	1.18	42.42
21	シジシージャパン Vパック生ハムロース 100g	6,067,787	21,065	288	1.21	1.12	24.40
22	伊藤ハム さわやかPうすぎりホワイトロース 90g	5,954,243	20,396	292	1.19	1.09	49.19
23	明宝特産物加工 明宝ハム<丸音> 360g	5,449,132	5,025	1,084	1.09	0.27	12.11
24	日本ハム 彩りキッチンロースハム 40g×3	5,268,245	20,485	257	1.05	1.09	11.15
25	日本ハム 彩りキッチンロースハム 40g×4	4,868,866	16,649	292	0.97	0.89	9.44
26	鎌倉ハム富岡商会 熟成ロースハム 75g	4,746,851	12,764	372	0.95	0.68	22.78
27	伊藤ハム 朝のフレッシュチキンハム 38g×3	4,522,684	19,790	229	0.9	1.06	30.70
28	丸大食品 たっぷり使えるロースハム切り落とし 220g	4,437,651	14,132	314	0.89	0.75	28.69
29	シジシージャパン Vパックホワイトロースハム 185g	4,251,121	14,518	293	0.85	0.77	19.35
30	プリマハム サラダにうす切りロースハム 65g	4,097,450	21,109	194	0.82	1.13	57.48
31	シジシージャパン Vパックしっとりももハム 120g	4,040,222	13,894	291	0.81	0.74	22.69
32	丸正フーズ 丸正 ホワイトボンレス 90g	3,506,670	16,663	210	0.7	0.89	2.86
33	鎌倉ハム富岡商会 熟成ももハム 68g	3,367,843	9,109	370	0.67	0.49	20.11
34	エア・ウォーター・アグリ&フーズ 春雪さぶーる 生ハムロース 80g	3,195,552	11,782	271	0.64	0.63	17.16
35	伊藤ハム しっとりまるやかもも生ハム切落し110g	3,067,808	9,908	310	0.61	0.53	21.45
36	日本ハム 切り落としホワイトももハム 170g	3,062,398	8,739	350	0.61	0.47	23.36
37	信州ハム グリーンマーク ボンレスハム 使い切り 35g2連	2,859,594	10,319	277	0.57	0.55	18.30
38	日本生活協同組合連合会 生ハムロースツインパック 92g	2,846,704	11,175	255	0.57	0.6	3.43
39	米久 ロースハムスライス 140g	2,712,126	13,575	200	0.54	0.72	8.48
40	プリマハム ロースハム 50g4コタバ	2,688,086	9,382	287	0.54	0.5	5.34
41	伊藤ハム 醇上級 ロースハム 53g	2,682,987	12,662	212	0.54	0.68	46.52
42	日本ハム ぐらし良好ロースハム4連 37g×4	2,239,498	7,852	285	0.45	0.42	3.43
43	伊藤ハム 朝のフレッシュ糖質0塩分カットロースハム 37g×3	2,217,715	8,448	263	0.44	0.45	23.16
44	銀河フーズ ロースハムスライス 230g	2,190,431	5,919	370	0.44	0.32	6.01
45	シジシージャパン 適量適価 ロースハム 45g	2,190,319	20,845	105	0.44	1.11	20.31
46	信州ハム 信州 軽井沢熟成ロースハム 110g	2,155,620	5,827	370	0.43	0.31	11.53
47	プリマハム スライスロースハム 102g	2,106,785	10,528	200	0.42	0.56	6.10
48	めぐみの農業協同組合 JAめぐみの 400g	2,079,388	2,060	1,009	0.42	0.11	7.82
49	プリマハム 切り落としロースハム 220g	2,077,701	5,844	356	0.41	0.31	15.06
50	丸大食品 いつも新鮮ロースハム 4枚×5P	2,069,474	7,271	285	0.41	0.39	2.29

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月26日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	4,417	3,343	2,651	2,004	-	
		安値	2,339	2,269	1,944	1,771	-	
		平均	2,787	2,575	2,212	1,907	-	
	100頭	頭数	68	24	6	2	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		-	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	-	
		去 A	高値	3,244	2,515	2,323	2,041	-
			安値	2,368	2,279	2,154	1,811	-
	平均		2,645	2,380	2,257	1,955	-	
	193頭	頭数	127	55	8	3	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
-頭	去 C -頭	平均	-	-	-	-		
	交雑牛	雌 B	平均	-	1,901	1,533	1,329	
		5頭	頭数	-	1	1	3	
雌 C		平均	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	去 B	平均	-	1,730	1,627	1,424		
		32頭	頭数	-	3	16	13	
去 C		平均	-	1,652	1,445	1,390		
	8頭	頭数	-	2	2	4		
	-	-	-	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	1,044	-	(競り)	(相対)	
売買	430	967	105.0	-	4	63

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,936	1,718	1,359	1,165	-
	B	-	1,302	1,204	1,059	805
和 去	A	3,003	-	-	1,543	-
	B	-	-	-	2,123	-
乳 雌	B	-	-	-	848	-
	C	-	-	-	841	764
乳 去	B	-	-	-	1,093	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	540
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	1,265	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	616	769	661	594	541
	安値	562	540	508	422	269
	平均	582	559	546	530	472
	頭数	(15)	(352)	(338)	(142)	(120)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	513
	安値	-	-	-	-	513
	平均	-	-	-	-	513
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)

[大阪食肉卸売市場] 11月26日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,689	2,335	-	-	-
(頭数)	(19)	(8)	(3)	(2)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(2)	(2)	(-)
和 去 A	2,827	2,271	-	-	-
(頭数)	(41)	(6)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,105	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,947	1,894	1,592	-	-
C	-	1,588	1,632	1,436	-
交雑去 B	-	1,724	1,613	1,528	-
C	-	-	1,560	1,512	-
豚	-	644	597	466	381

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	11月26日	11月25日	(11月累計)
豚	69,700	67,700	1,169,600
成牛計	5,190	5,460	85,600
和牛雌	1,220	1,310	21,810
和牛去勢	1,570	1,670	22,950
乳牛雌	690	490	12,560
乳牛去勢	530	570	8,780
交雑雌	550	600	9,120
交雑去	630	800	10,210

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月26日

	1,535円	(前日 1,502円)
東京		
	1,602円	(前日 1,644円)
大阪		

[豚・全農建値] 11月26日

上	中	取引頭数	市況
558円	541円	1008頭	弱もちあい

と畜	牛	豚	牛概況	強含み
売買	130頭	75頭	豚概況	急落
	134頭	68頭		

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月26日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	572 (572)	- (-)	6,125	-	もちあい
仙台 [中]	535 (538)	485 (495)	552	35	軟調
宇都宮 [地]	- (540)	- (527)	-	-	休市
茨城 [地]	566 (553)	545 (541)	1,251	813	反発
群馬 [地]	564 (550)	507 (513)	2,193	432	反発
さいたま [中]	556 (550)	540 (538)	307	309	上伸
東京 [中]	559 (551)	546 (549)	1,044	967	小反発
横浜 [中]	560 (576)	537 (542)	645	650	反落
山梨 [地]	634 (-)	621 (-)	192	106	急伸
浜松 [地]	546 (550)	476 (481)	252	41	弱もちあい
名古屋 [中]	594 (595)	586 (579)	995	294	弱もちあい
京都 [中]	618 (595)	594 (571)	118	116	もちあい
大阪 [中]	644 (662)	597 (567)	75	60	急落
神戸 [中]	593 (-)	601 (-)	-	155	-
岡山 [地]	693 (657)	641 (656)	318	303	反発
広島 [中]	599 (582)	552 (555)	259	92	反発
福岡 [中]	600 (590)	566 (558)	473	77	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月19日～11月25日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,782,916 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,132	1,170	1,236	1,171	99,972
うで	713	786	827	783	143,730
ロース	994	1,103	1,166	1,089	167,936
ばら	1,188	1,307	1,363	1,294	175,237
もも	743	764	808	764	207,600
ヒレ	1,135	1,163	1,273	1,169	11,807
セット	888	1,023	1,061	993	976,634

◇近畿圏 総重量 834,944 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,265	1,323	1,255	69,218
うで	680	734	810	739	139,365
ロース	994	1,134	1,194	1,110	117,485
ばら	1,253	1,296	1,350	1,293	147,592
もも	704	732	770	734	184,870
ヒレ	1,080	1,183	1,388	1,209	12,772
セット	858	971	1,076	967	163,642

[食鳥正肉日経相場] 11月25日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	660	706	817	162
ムネ	368	401	509	132

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	668	729	1,010	9
ムネ	374	427	570	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月25日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	953	631	550	600	650
安値	674	375	290	360	350
平均	722	408	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉に関する**最新**のニュースを、どこよりも**早く**お届け!

日刊食肉速報

2024年11月、リニューアル!

A4版にリニューアルして更に見やすくなりました。

また、紙媒体だけでなく、新設されたWEBページでいつでも手軽に情報チェックが可能に。

食肉関連の行政、業界の動向をはじめ、国産と輸入の相場市況、企業情報など、これからも鮮度の高い日々の業界ニュースをお届けいたします。

紙媒体

A4版に
サイズUP!



**WEB
サービス版**

手軽に情報チェック!
バックナンバーも
探しやすい!



購読料は
そのまま!



仕様 | 11ページ
(表紙)カラー (中面)モノクロ
発行 | 月曜から金曜 (祝祭日を除く)
購読料 | 1カ年 82,080円(税・送料込)
6カ月 42,120円(税・送料込)

*写真はイメージです。

広告スポンサー募集

日刊だからこそ、効率的なタイミングでPR!

業界紙として70年の歴史をもつ信頼性の高い本紙にて、広告を出しませんか?
広告サイズは幅広く対応可能です。ぜひ、貴社のビジネスにお役立てください。

イベント情報など
スポット告知に最適

ターゲットを絞った
訴求力の高さ

70年の歴史をもつ
信頼性の高い業界紙

● 購読・広告掲載に関するお問い合わせ ●

東京支社 ☎03-3663-2011 ✉mail@shokuniku.co.jp

株式会社 食肉通信社